

第77期中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第77期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

■営業の概況

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新興国は堅調に成長を続けてきましたが、ユーロの金融危機が世界に波及し、世界全体では成長のペースが弱まりました。

国内経済においては、東日本大震災の影響による落ち込みから予想以上の速さで持ち直していますが、そのペースが緩やかになる動きが見られます。

風水力機械業界においては、東日本大震災の復旧需要や緩やかな成長を続ける海外向けの需要などがありますが、最高水準の円高の影響もあり、依然として受注環境は厳しい状況が続いています。

このような環境下で、当社グループは積極的な営業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間における受注総額は87億33百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

■業績の概要

◇売上高／損益

売上高については、前年同期に比べて送風機が減少し、前年同期比87.0%の49億16百万円を計上しました。

利益面については、前年同期に比べて売上高の減少や利益率の低い物件の集中などにより売上総利益が5億1百万円減少し、営業損失7億46百万円（前年同期は4億23百万円の損失）、経常損失7億28百万円（前年同期は5億37百万円の損失）、四半期純損失4億59百万円（前年同期は4億15百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの売上高計上は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する季節性を有しております。

当社グループの通期の業績予想に関しましては、大型案件の受注が下期にずれ込むなどにより、売上高は前回予想（平成23年7月29日時点）の175億円に対し169億円となる見込みです。しかしながら、利益面につきましては、海外調達拡大などのコストダウンや経費節減を図り、前回予想と同じ、営業利益1億20百万円、経常利益1億50百万円、当期純利益25百万円となる見込みです。

◇配当

中間配当につきましては、1株につき20円とさせていただきます。通期では、1株につき40円（うち期末普通配当金が20円）を予定しております。

■今後に向けて

国内向けでは震災の復旧需要が一段落するなど、市場の伸びはあまり期待できない状況ですが、海外向けについては円高で受注環境が厳しいながらも受注機会は多数見込まれるため、海外に目を向けた戦略をはじめとして積極的な経営を推進いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長 柳瀬宜浩

当社とインドJyoti社との協業及び技術提携について

インドでは経済の発展に伴い、電力エネルギーの確保が重要課題となっています。

インドでの発電設備は、現状20万～50万kWの小・中規模火力発電所及び原子力発電所が主流となっています。今後は100万kW級の大規模発電所の建設が計画されており、インド国内のポンプメーカーには、発電公社等から高度な技術及び品質が要求されることから、欧米、日本企業との協業や技術提携が必要となっています。

こうした情勢を受けて、当社は去る6月15日にインドJyoti社と協業及び技術提携に関する契約調印を行いました。

今後当社は、Jyoti社と共同して発電用循環水ポンプ及び公共インフラの灌漑用ポンプの分野での受注を目指します。

Jyoti社の概要

【設 立】1943年

【従業員数】約2,700人

【事業内容】電機・電気設備及びポンプの製造・販売

【資 本 金】273百万円（邦貨換算、2010年3月期）

【売 上 高】6,113百万円（邦貨換算、2010年3月期）



●調印式にて
当社柳瀬社長（右）とJyoti社COOゴバルクリシュナン氏（左）

トルクメニスタンの天然ガス精製プラント向け硫黄回収用多段ブロウの試運転完了



●工場試運転中の硫黄回収用多段ブロウ

世界第4位の天然ガス埋蔵量を有するトルクメニスタンの天然ガス精製プラント向け硫黄回収用多段ブロウ（口径1,000mm）の試運転が完了しました。同プラントで精製される天然ガスは、パイプラインを通じて供給先に送られます。

ガス田から採掘される天然ガスには、硫化水素等の不純物が含まれます。そのため、同プラント内には年間100億m³の天然ガスを脱硫処理することが可能な浄化施設が建設され、当社ブロウはその反応炉に高圧の空気を送る役目をするものです。送り出す空気の量（1,116m³/min）及び圧力（98.3kPa）は、それぞれ当社実績最大クラスとなっています。

製品別営業の概況

ポンプ

海外民需向けが減少しましたが、国内民需の電力・ガス向けや国内官需向け全般が大幅に増加しましたので、受注高は69億4百万円（前年同期比75.6%増）となりました。



●浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備用海水取水ポンプ

バルブ

国内民需の石油精製向けが減少しましたが、国内官需の上水道向けが大幅に増加しましたので、受注高は1億89百万円（前年同期比176.7%増）となりました。



●浄水場導水ポンプ吐出圧制御用ACサーボモータ駆動ロートバルブ

送風機

国内官需の下水道向けが増加しましたが、海外民需向けが大幅に減少しましたので、受注高は13億67百万円（前年同期比40.1%減）となりました。



●下水道処理場向けばっ気ブロウ

その他

海外民需向けが減少しましたので、受注高は2億70百万円（前年同期比47.3%減）となりました。



●排水機場向けポンプ制御盤

連結財務諸表

●四半期連結貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	10,870	流動負債	3,689
現金及び預金	1,211	支払手形及び買掛金	2,056
受取手形及び売掛金	6,637	未払法人税等	5
有価証券	61	前受金	723
仕掛品	1,892	受注損失引当金	143
原材料及び貯蔵品	130	製品保証引当金	74
その他	936	役員賞与引当金	28
固定資産	7,270	その他	657
有形固定資産	3,043	固定負債	941
建物及び構築物	1,906	退職給付引当金	778
その他	1,137	役員退職慰労引当金	13
無形固定資産	295	その他	150
投資その他の資産	3,931	負債合計	4,631
投資有価証券	2,665	(純資産の部)	
その他	1,318	株主資本	13,425
貸倒引当金	△52	資本金	810
資産合計	18,140	資本剰余金	111
		利益剰余金	12,980
		自己株式	△476
		その他の包括利益累計額	83
		その他有価証券評価差額金	84
		繰延ヘッジ損益	△0
		純資産合計	13,509
		負債純資産合計	18,140

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

●四半期連結損益計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

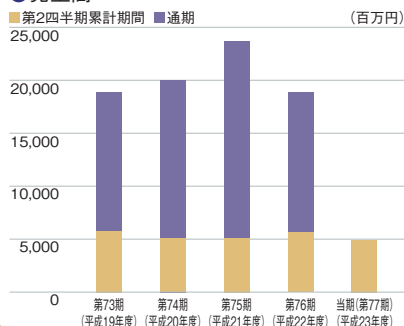
(単位：百万円)

科目	金額
売上高	4,916
売上原価	4,283
売上総利益	632
販売費及び一般管理費	1,378
営業損失	746
営業外収益	77
受取利息	11
受取配当金	24
受取賃貸料	34
その他	6
営業外費用	59
投資有価証券評価損	34
賃貸費用	10
その他	14
経常損失	728
税金等調整前四半期純損失	728
法人税、住民税及び事業税	6
法人税等調整額	△275
少数株主損益調整前四半期純損失	459
四半期純損失	459

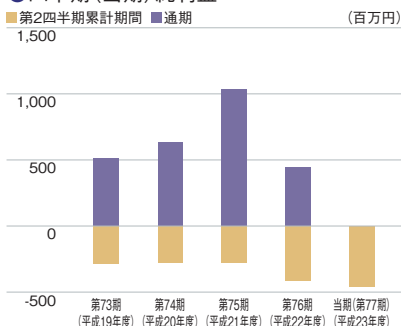
(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

財務ハイライト (連結)

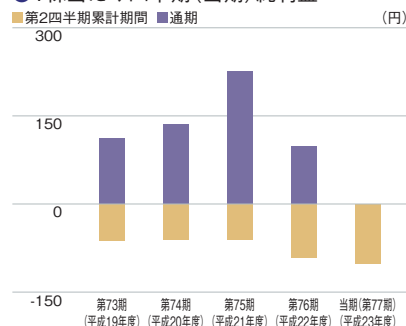
●売上高



●四半期(当期)純利益



●1株当たり四半期(当期)純利益



株式の状況

(平成23年9月30日現在)

■発行可能株式総数	19,107,600株
■発行済株式の総数	4,776,900株
■株主数	2,557名

●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.22
三井住友海上火災保険株式会社	202	4.48
明治安田生命保険相互会社	175	3.89
電業社取引先持株会	156	3.48
株式会社鶴見製作所	130	2.91
株式会社明電舎	127	2.84
財団法人生産技術研究奨励会	120	2.68
住友生命保険相互会社	117	2.62
日本生命保険相互会社	105	2.34
株式会社三菱東京UFJ銀行	104	2.33

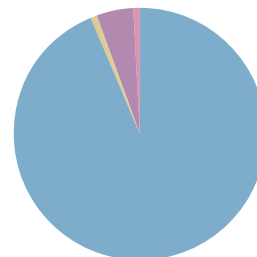
(注) 1. 当社は、自己株式(291千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

●株主構成

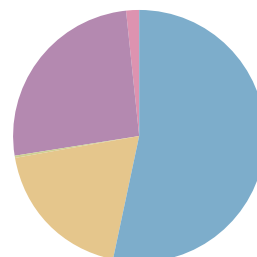
所有者別株主比率

■個人・その他	2,398名	93.78%
■金融機関	12名	0.47%
■証券会社	10名	0.39%
■その他の国内法人	122名	4.77%
■外国法人等	15名	0.59%



所有者別持株比率

■個人・その他	25,557百株	53.50%
■金融機関	9,066百株	18.98%
■証券会社	45百株	0.10%
■その他の国内法人	12,329百株	25.81%
■外国法人等	770百株	1.61%



会社の概況

(平成23年9月30日現在)

●会社の概要

- 商号 株式会社 電業社機械製作所
(DMW CORPORATION)
- 所在地 東京都大田区大森北一丁目5番1号
〒143-8558 TEL 03 (3298) 5115
- 資本金 810,000千円
- グループ従業員数 615名 (うち契約社員80名、パートタイム勤務者35名)

●主な製品内容

機種	製品名
ポンプ	斜流ポンプ、多段ポンプ、渦巻ポンプ、軸流ポンプ、水中モータポンプ、その他各種ポンプ
送風機	ターボブロワ、遠心ファン、軸流ファン、ジェットファン、その他各種送風機
バルブ	ロートバルブ、ハウエルバンガーバルブ、その他各種バルブ
その他	配電盤、電気計装制御装置、電気通信制御装置、除塵機、回転円板装置、水中排砂ロボット等

●取締役、執行役員及び監査役 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長 最高執行役員社長	柳 瀬 宜 浩
取締役専務執行役員	土 屋 忠 博
取締役上席常務執行役員	山 本 昇
取締役常務執行役員	浅 見 幸 男
取締役上席執行役員	彦 坂 典 男
上席執行役員	杉 谷 恒 也
執行役員	山 本 俊 明
執行役員	戸 泉 勝 喜
執行役員	鯉 沼 博 行
執行役員	村 林 秀 晃
執行役員	浜 田 耕 一
常勤監査役	岡 田 洽 史
常勤監査役	深 田 博
監査役	北 村 康 男
監査役	松 村 俊 夫

株主メモ

- 事業年度 ■ 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 ■ 3月31日
中間配当金受領株主確定日 ■ 9月30日
定時株主総会 ■ 毎年6月
株主名簿管理人 ■ 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 ■ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 ■ 東京証券取引所
公告の方法 ■ 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.dmw.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



当社ホームページ ▶ <http://www.dmw.co.jp/>



株式会社 電業社機械製作所

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号
TEL (03) 3298-5115 (代表)

